

令和5年7月18日

南アルプス市長 金丸 一元 様

南アルプス IC 周辺高度活用計画検討委員会  
会 長 佐 藤 文 昭

南アルプス I C 周辺高度活用推進計画（案）について（答申）

令和4年8月12日付けで諮問のありましたこのことについて、当委員会で慎重に審議、検討を重ねた結果、本計画案として取りまとめましたので、別紙のとおり答申します。

# 答 申 書

## 『南アルプス IC 周辺高度活用推進計画』

### —まちの玄関口の創出—

#### 職住が近接し、自然や農業が身近にある暮らし 「南アルプス・ライフスタイル」の実現へ

令和 4 年 8 月 12 日付けで当検討委員会に諮問がありましたこのことについて、令和 4 年 8 月 12 日から令和 5 年 7 月 10 日まで計 7 回の検討委員会を開催し、慎重に審議を重ねてきました。

検討委員会では、審議を通じて各委員から本地区の高度活用に関する様々な視点からのご意見やご提案に加え、計画案に係るパブリックコメントに寄せられた意見を踏まえ、検討委員会の総意として、別紙「南アルプス IC 周辺高度活用計画（案）」を策定しましたので、これをもって答申とします。

本計画は、「まちの玄関口」を創出し、定住・交流人口の増加及び地域経済の活性化に寄与するために高度利用を推進するものであることから、今後の周辺地区の方向性だけではなく、ユネスコエコパークを有する本市全体の将来にわたる地域の魅力やその価値を活かしたまちづくりの方向性にも様々な影響を及ぼす可能性があると考えられます。

特に、従来企業の誘致に伴う人口増加や雇用の拡大といったプラスの面だけではなく、それに伴う地域の自然環境や生活環境への影響、さらには地元産業への影響などを懸念するご意見もある中で、参入企業のニーズから計画を検討するだけではなく、地域の仕事や暮らしと調和し、共に持続的に発展していくことの出来る計画づくりを推進することを要望します。

そのために、今後、ハード整備とあわせて、地域と参入企業、行政の連携による「エリアマネジメント組織」を設けることにより、多様な主体間の対話を通じて新たなビジネスやサービスを生み出していくことの出来るソフト整備も推進しながら、計画を具体化していくことを要望します。